

インストール

[http://kisa.homeip.net/wiki/?XOOPS%A4%CE%A5%A4%A5%F3%A5%B9%A5%C8%A1%BC%A5%EB\(Linux%CA%D4\)](http://kisa.homeip.net/wiki/?XOOPS%A4%CE%A5%A4%A5%F3%A5%B9%A5%C8%A1%BC%A5%EB(Linux%CA%D4))

必要なもの

Web サーバー
Apache 推奨

PHP
PHP 4.1.0 以降

MySQL
MySQL 3.23.xx 以降

Apache の前準備

```
> cd /var/www/html  
> mkdir xoops2
```

MySQL の前準備

```
> mysql -u root -p
```

XOOPS 専用のデータベース「xoops2」を作成します

```
mysql> create database xoops2;
```

XOOPS 専用のユーザー「xoops2user」を作成します。「xoops2」データベースのみにアクセス権限を付与し、パスワードは「abc」と設定してみます。以下のコマンドを実行します。

```
mysql> grant all privileges on xoops2.* to xoops2user@localhost identified by 'abc';
```

XOOPS のダウンロードと配置

XOOPS の最新版は、以下のサイトからダウンロードできます。

<http://jp.xoops.org/xoops/download.php>

```
> tar jxvf xoops-2.0.7.tar.bz2
```

解凍すると、カレントディレクトリに「html」「docs」「extras」の3つのディレクトリが現れます。ちなみに、このうち、XOOPS サイトを立ち上げる為に必要なディレクトリは「html」ディレクトリのみで、そのほかドキュメントやおまけですので無くても大丈夫です。Apache のドキュメントルートの中に作成した「xoops」ディレクトリに今解凍した「html」ディレクトリの中身をすべてコピーしてください。

```
> cd html  
> cp -r -f * /var/www/html/xoops2
```

次に、「日本語ファイルパッケージ」を解凍します。

```
> tar zxvf xoops-2.0.7-lang-ja-eucjp.tgz
```

この結果、カレントディレクトリに「xoops-2.0.7-lang-ja-eucjp」ディレクトリが作成され、その中に「html」ディレクトリがあるはずです。

この「html」ディレクトリの中身すべてを、先にコピーした「xoops2」ディレクトリ中のファイルに上書きします。

```
> cd xoops-2.0.7-lang-ja-eucjp/html  
> cp -r -f * /var/www/html/xoops2
```

これで、日本語対応は完了です。

XOOPS のインストール

```
http://localhost/xoops2/
```

あとは適当に設定。

他のサーバへ移行する

- 1 . mysql をバックアップ、リストアでデータベースをコピー
- 2 . mainfile.php のアドレスを変更